

ゆめ・まち・みらい vol.11

阪急阪神ホールディングスグループ社会貢献活動「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」情報誌
[2011年秋号(年4回発行)]



音楽を通じて こども達に伝えたい 夢を追い続ける力、 感謝する力

ゆめ・まち・みらい インタビュー
佐渡 裕さん

(指揮者・兵庫県立芸術文化センター芸術監督)

●ゆめ・まち基金
助成対象団体レポート
「箕面の山パトロール隊」
「NPO法人 京都子どもセンター」
「自然科学の基礎を訪ねる実行委員会」

●活動レポート
阪急電鉄 田中 成明さん

●こちら事務局
「第2回 六甲山植樹イベント
参加者募集」
「第4回 ゆめ・まちフェアトレード
商品販売会」

阪急阪神ホールディングス グループ

2009年よりスタートした、阪急阪神ホールディングスグループの社会貢献プロジェクト。
「未来にわたり住みたいまちづくり」を方針に、「地域環境づくり」と「次世代の育成」の分野で、
グループ会社や従業員など、さまざまな連携を通じて活動を進めています。

こちら事務局

みんなが寄贈した苗木を植えよう!
第2回六甲山植樹イベント 開催のお知らせ

参加者
募集!

社会貢献ポイント交換で皆さまから寄贈いただいた苗木を六甲山上に植樹します。植える樹木は、ヤマザクラ、タムシバなど。大きく育てば、森の動物達のえさとなる実をつける木ばかりです。また、草木を使った工作教室もご用意しています。秋深まる六甲山で、ぜひ自然にふれてみませんか。



日時…………… 11月19日(土) 13:00～15:00(雨天時は翌日延期)
集合場所…………… 六甲高山植物園西入口(六甲ケーブル山上駅から山上バス7分)
内容…………… 体験①「草木を使った工作に挑戦」
体験②「下草刈りと植樹」
講師…………… 足立勲氏(自然体験教育研究所主宰)
協力…………… 六甲高山植物園
料金…………… 参加無料(交通費は各自負担)
服装・持ち物… 動きやすい服と靴、軍手、飲み物
定員…………… 30名(先着順) ご家族の同伴大歓迎。
受付…………… 受付中。FAX・メールで事務局へ申し込み。
所属会社・参加者全員のお名前(ふりがな)・連絡先(TEL)を明記して下さい。

※未整備の山に入りますので、安全には十分ご留意下さい。
※小学生以下のお子さま同伴の場合には、必ずお子さま1名につき、
大人1名のご参加をお願いします。
※事務局にて、参加者傷害保険に加入します。

今年も六甲ガーデンテラス「ホルティ」出張販売会を行います!
第4回ゆめ・まちフェアトレード商品販売会

「買い物を通じた社会貢献」を気軽に楽しんでいただくために、毎年開催しているゆめ・まちフェアトレード商品販売会。今回で4回目を迎える販売会では、新たに大阪新阪急ホテルでの開催も決定しました。現地の生産者が丹精こめてつくった商品の数々が届きますので、どうぞお楽しみに。



第1回 日時: 12月6日(火) 11:30～14:00
会場: 阪急阪神交通社ホールディングス KHD東京ビル8F会議室
第2回 日時: 12月7日(水) 11:30～14:00
会場: 阪神電気鉄道本社ビル10Fホール
第3回 日時: 12月8日(木) 11:30～14:00
会場: ハービスOSAKA 14F 阪急交通社会議室
第4回 日時: 12月12日(月) 11:30～14:00
会場: 阪急阪神ホテルズ
大阪新阪急ホテルB2F従業員食堂別室
第5回 日時: 12月14日(水) 11:30～14:00
会場: 阪急電鉄本社ビル1F エコルテホール
お支払い方法: 現金のみ
ポイント申請方法: 領収書原紙を申請用紙に添付してご申請下さい。(メール・FAXによるご提出はできません) 当日、会場で申請できます。

阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト事務局 阪急阪神ホールディングス株式会社 人事総務部社会貢献担当
shakai@hankyu-hanshin.co.jp TEL: 06-6373-5086 FAX: 06-6373-5174
ホームページ <http://www.hankyu-hanshin.co.jp/yume-machi/>
従業員専用ホームページのユーザー名、パスワードは **8984** です。

阪急阪神 ゆめ・まち 検索

社会貢献用語辞典
未来をつくる
コトバ
vol.11

チャイルドライン
[Childline]

18歳までなら、誰でも匿名かつ無料でかけられる、こども専用の電話相談サポート。1986年にイギリスで始まり、日本でも全国にある活動で、いじめや虐待など、こども達のおかれている実態の把握にもつながっています。「誰にも言わない」「名前は言わなくていい」「いつでも切っている」「一緒に考える」…この4つの約束を守りながら、こどもの声に耳を傾けてくれます。

※本誌P5「京都子どもセンター」の記事もご参照ください。



編集後記

東日本大震災では、音楽に何ができるかと無力感を感じたという佐渡裕さん。真摯に、長く地道に支援を続けることが大事だとの言葉に、強く共感しました。(相良有希子)

担当になり半年。社会は人の善意や情熱によって支えられていると感じる日々です。「社会貢献の醍醐味は楽しみながら続けられること」。この言葉を胸に、がんばります!(平野里美)



「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」とは





series 11

ゆめ・まち・みらい インタビュー

指揮者・
兵庫県立芸術文化センター芸術監督

佐渡 裕さん

「佐渡裕とスーパーキッズ・オーケストラ」
兵庫県立芸術文化センターでの演奏会音楽を通じて子ども達に伝えたい
夢を追い続ける力、感謝する力

今年、世界最高峰のオーケストラ、ベルリン・フィルを指揮したマエストロ・佐渡裕さん。

テレビ番組「題名のない音楽会」の司会者としてご存じの方も多いでしょう。

世界を股にかけて活躍するかたわら、次世代の育成に力を注いでおられる佐渡さんに、音楽や子ども達への思いを伺いました。

思いを次世代に
つなげていくための
子ども達のオーケストラ

僕が芸術監督を務めている兵庫県立芸術文化センターは、阪神淡路大震災の復興のシンボルということもあり、2005年のオープン前から他にはないユニークなメニューを用意しようと話していたんです。そんな折、明石市商工会議所の方から一通の手紙が届けられました。「明石花火大会歩道橋事故後、明石市の子ども達が未来を考えていけるよう、何か企画して欲しい」と。そこで、明石で吹奏楽をやっている子ども達を対象とした音楽教室を開き、それが後の「スーパーキッズ・オーケストラ（以下SKO）」の誕生につながりました。2003年に結成して初めてのコンサートは、明石市民会館で。歩道橋事故

のご遺族も招待し、追悼の意を込めて祈りの曲である「G線上のアリア」も演奏しました。

SKOは、全国から集まった小学生から高校生までの子ども達で構成した弦楽オーケストラ。毎年4月にオーディションを行い、8月末の兵庫県立芸術文化センターでのコンサートをめざします。オーディションを経験してもらうという教育的な意味合いもあります。一番の目的は音楽を通じて「思いを次世代につなげていく」とことだと思っています。この9年間、僕は子ども達の成長ぶりに注目してきました。SKOに入り急激に

進化する子もいれば、せっかくのチャンスを活かせないこともある。さまざまな個性があり、言葉数が少ない子の中にパッションが秘められていることもある。僕はそういうものを見逃さないようにしたい。そのため、限ら

れた時間の中で、時には楽器を置いて2〜3時間、子ども達と話をすることもあります。そこで生まれる信頼関係が、また素晴らしい音楽を奏でることにつながる。新しい才能の開花を見守ることができればもちろん、こういった瞬間に立ち会えることがSKOを続ける醍醐味だと感じています。

感謝力が
芽生える演奏会
今年の夏は被災地でも

SKOは、8月のコンサートまでの期間、練習成果を試すという意味もあり、さまざまな所で演奏会を行います。冗談みたいな話ですが「スーパーキッズ」だから、『スーパーマーケット』と、レジ横で演奏して買物客にびっくりされたこともあります。

その一方で、2009年に兵庫県佐用町で水害が起きた時は、1カ月も経たないうちに現地へ赴いて演奏しましたし、今年の夏も、東日本大震災で被害に遭われた方への鎮魂と祈りを込め、被災地で演奏会を開きました。海に向かって静かな曲を演奏しましたが、子ども達にとって貴重な体験になったと思います。

こういう活動を通じて感じるのは、演奏会を支える人達や聴きに来てくださる人達に感謝する気持ち、子ども達のなかに育っていること。自分一人でできることはほんのわずかで、周りの人の支えがあつてこそ自分があるからでしょうね。音楽の世界に限らず、努力・才能・運は足し算として積み重なっていくものですが、「感謝する力」が加わると、掛け算のようにそれが何倍にもなり、かえってくる気がします。「感謝力」は、SKOを経験した子ども達のかげがえのない宝物ではないでしょうか。

世界一のオケ指揮後も
変わらないものがある

今年、僕は小学校の卒業文集に書いた「ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団を指揮したい」という目標を、定期演奏会の客演という形でかなえまし

た。僕にとっては、本当に夢のようなできごと。文章で形に残していくこと、常に言葉にすることで、少しずつ夢に近づいてきた気がします。ベルリン・フィルで指揮をしている最中におけるいいほどの集中力に包まれ、楽団員、2500人の聴衆、そして自分自身すら意識から消えた瞬間がありました。ただ音のためだけの世界：そんな未体験ゾーンに入っただけです。この幸福感を今後も味わいたいし、世界中のスーパーオーケストラを指揮したい。ベルリン・フィルはひとつの区切りではありましたが、ゴールではなかった。まだまだ勉強ですね。

ベルリン・フィルの指揮台上に上がって改めて思うのですが、人には進化すべきことと、変わっちゃいけないことがある気がします。吹奏楽部の一員として仲間と練習に励んだ日々、かけ出しの頃に女子高校の吹奏楽やママさんコーラスと一緒につくった音など、僕の音楽の背景にあるものを大事にしたい。だから一流オーケストラも指揮するけれど、小学校や中学

校に行つて音楽の授業や吹奏楽の指導も続けていきたい。

師であるバンス・ティン・ハンは生前、「これまで一番意味のある演奏会は？」

という僕の問いに、「ヤング・ピープルズ・コンサート」と即答したことがあります。子ども達に音楽の楽しさを伝えるそのコンサートを、僕は日本で引き継ぐことになるのですが、当時は「あれほどの指揮者が、なぜ子ども達のコンサートなのか」と思いました。しかし年を重ねるにつれ、次世代に思いをつなげる大切さを実感するようになりました。これからも、そういった気持ちを大切にしていきたいですね。

Profile

Yutaka Sado
佐渡 裕さん

1961年生まれ。京都市立芸術大学卒業。故レナード・バーンスタイン氏、小澤征爾氏に師事。1989年にブザンソン国際指揮者コンクールで優勝。2011年に世界最高峰のベルリン・フィルハーモニー管弦楽団に客演デビュー。兵庫県立芸術文化センターの芸術監督、シエナ・ウィンド・オーケストラの首席指揮者。

佐渡裕さんが芸術監督を務める芸術文化の発信拠点。

阪神淡路大震災の復興のシンボルとして、2005年に設立された芸術文化の発信拠点です。佐渡裕さんは、芸術監督としてコンサートやオペラをはじめとする、多彩な舞台芸術をプロデュース。同時に、世界から集まった若手の精鋭達で構成されている兵庫芸術文化センター管弦楽団を率い、音楽家育成にも努めておられます。また、県内の中学1年生を対象にした体験学習プログラム「わくわくオーケストラ教室」など、子ども達の豊かな心をはぐむ事業にも取り組んでいます。その他にも、さまざまな活動を行っていますので、ぜひホームページにアクセスを。

芸術文化を通じて人々の交流をめざす
兵庫県立芸術文化センター詳しくはホームページで <http://www1.gcenter-hyogo.jp/>兵庫県立
芸術文化
センター

「ゴミを捨てないで!」という子ども達の願いがポスターに。



箕面の山には、大阪市近郊とは思えないほど豊かな自然があります。



ドライブウェイから落とされるゴミは、回収に危険をともなうことも。



豊かな自然環境を次世代に残したい 大阪近郊の貴重な自然 箕面の山をきれいに!

「箕面の山パトロール隊」は、豊かな自然環境を次世代に残すため、ゴミ(ゼロ)をめざして有志で立ち上げた市民団体。

クリーンハイキングを中心に、箕面山の自然を守る活動を続けておられます。

「箕面の山のファンづくりが大切」と語る事務局長の稲井さんにお話を伺いました。

クリーンハイキングで 緑を楽しみながらゴミ回収

大滝や紅葉で知られる箕面山は、大阪都心に近く、多彩な動植物の宝庫。標高100〜600mのエリアは、明治の森箕面国定公園に指定されています。「箕面の山パトロール隊」発足のきっかけは、高尾山と箕面山を結ぶ東海自然歩道を踏破したあるハイカーの一言でした。「東京都近郊の高尾山はきれいだ、大阪近郊の山はゴミが多くて汚い」。当時、みのお山麓保全委員会の代表を務めていた稲井さんは、箕

面山も山道にタバコの吸い殻やペットボトルが捨てられ、斜面や谷底に大型ゴミが不法投棄されていることを知っていました。改めて「このままではいけない」と奮起した稲井さん達は、さっそく「ゴミ0(ゼロ)プロジェクト」を立ち上げ、賛同する人たちを募集。2004年、有志16名と企業1社で「箕面の山パトロール隊」を結成しました。

当初はごみ拾いを目的に始まったクリーンハイキング。回を重ねるごとにメンバーも増え、動植物の観察や森林浴を楽しみながらの散策へと、新しい付加価値が増えてきています。現在は50名

企業・団体と連携しながら 情報発信やイベント開催

ゴミ回収とともに力を入れているのが、自然に関する情報発信と箕面山美化の啓蒙活動です。隊員のブログやカメラマンが撮影した四季折々の写真をホームページで公開している他、オリジナルのハイキングマップを阪急箕面駅や観光案内所、滝道沿いの箕面ネイチャールームに設置。地元FM放送局の番組を通じて、イベントや定点観測のようすなど、鮮度の高い情報を毎週発信しています。また、子ども達を対象にした「箕面の生きものたち」「こどもハイキング」、「一般向けの「みのおde森ヨガ」「桜をめぐる国際交流ハイク」など、さまざまな切り口のイベントも実施。動植物の観察や体験を通じて、自然を愛する心をはぐくんできます。

地元のNPO法人はもちろん、大阪ボランティア協会、日本野鳥の会、日本勤労者山岳会などの団体との連携も拡大中。「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」の助成金は運営費に活用させていただきます。今後も民間企業や自治体、団体にご協力いただきながら、箕面の山からゴミがなくなるまで活動を継続していきたいですね。理想は、ゴミを回収しなくても良い山です」。稲井さん達隊員の願いがかなうまで、活動はまだまだ続きます。

ゆめ・まち基金に参加して 市民団体を応援しよう!

従業員の皆さんと、会社がともに沿線の市民団体を応援する「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」市民団体助成プログラム。昨年度は116団体もの応募をいただきました。今年も、9月27日から11月9日まで、来年度助成団体を募集しています。この基金を支えるのは、従業員の皆さん一人ひとりの「思い」です。この機会に、ぜひゆめ・まち基金への参加をご検討下さい!

箕面の山パトロール隊に興味を持たれた方へ

まずは、活動を支えるサポーターになりませんか。1口500円/年のサポーター金は、「箕面の山パトロール隊」の活動に役立てられます。オリジナル缶バッジ進呈や、企画ハイキング割引などの特典も。隊員として活動したい方、ゴミ回収に参加したい方も気軽に問合せを。

参加者募集 年1回の大掃除を今年も実施します!

箕面の山大掃除大作戦 12月3日(土) 9:00 芦原公園集合
雨天の場合は12月4日(日)に順延します。お申し込み・お問合せは下記事務局まで。

箕面の山パトロール隊事務局

〒562-0013 大阪府箕面市坊島4-5-20 ヴィソラWEST1-2F みのお市民活動センター内
TEL/FAX 072-725-2260 URL <http://minoh-pato.com/>



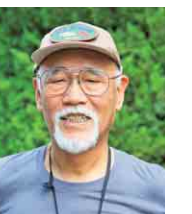
年1回の大掃除大作戦 不法投棄の防止対策も

クリーンハイキングの他、12月には年1回の大掃除大作戦を実施。400名前後の参加者で、普段のクリーンハイ

の隊員、一般参加者が手分けをして、13コースをそれぞれ月1回パトロール。年間156回の実施で、参加者は延べ約2400人、回収したゴミは約16t。単なるゴミ回収ではなく、自然を愛する仲間と山を歩く楽しさが、継続のチカラになっているようです。



箕面の山パトロール隊
副隊長・事務局長
稲井 信也さん



箕面の山は遠いという方も、忙しくて参加できない方も、気軽に自然環境を守る活動に参加していただけます。もちろん山を愛する方の活動参加も大歓迎です!

グループ従業員の皆さんから
寄せられた活動レポートをご紹介

活動レポート 17

「子ども会」のリーダー養成などをお手伝い こども達の笑顔と成長がやりがいに!

しげあき
阪急電鉄 田中 成明さん



NPO法人 児童育成会、通称JES(ジェス / Juvenile Education Society)の理事として、神戸市垂水区子ども会連合会のリーダー養成と行事をお手伝いしています。私自身が中学生の頃に子ども会のリーダーをしており、その時に指導して下さった方に誘われ、高校1年生からJESに参加。『社会に貢献し、自己を磨き、良きリーダーになる』という信念に共感し、30数年にわたって活動を続けています。

リーダー養成の活動も多岐にわたりますが、例えばキャンプの下見を兼ねた事前研修で、飯ごう炊さんやキャンプファイヤーの方法などをリーダー候補達に指導。本番では自分達が下級生をリードしなければならぬので、参加者は真剣そのものです。これまでに多くのリーダーが巣立っていきましたが、「リーダーを経験したこどもは、学校や社会でもリーダーシップがとれる」というのが実感です。私が担当したこどもが成長し、親の立場でJESに参加してくれているケースもあり、感慨深いですね。

その他、キャンプやハイキング、クリスマス会、映画会など、子ども会や幼稚園、障がい児施設などの要請に応じて行事をサポート。企画自体を提案することもあります。今の課題は、私達の活動を引き継いでくれる新メンバーづくり。西宮市子ども会協議会の役員もしているのですが、どちらにも若手が育ってくれることを願っています。



西宮市・神戸市垂水区合同リーダー養成キャンプにて

NPO法人 児童育成会(JES)の活動を知りたい方はこちらへアクセス!
<http://jestarumi.web.fc2.com/>

家庭でも学校でもない、こどもが自由に選べる第3の居場所づくりを目的に1999年に設立。『子どもの権利条約』『文化・芸術』をキーワードに、こどもと大人のパートナーシップで、こども達が豊かに過ごせる社会をめざしています。活動の柱は、「おやこ狂言会」「無人島一週間チャレンジキャンプ」などのこどもを主体とした遊び・学び活動の場づくり、親子で「はたらく・たべる・あそぶ・まなぶ」農業体験「オーガニックファミリー」などのへんづくり、こどものホットライン「チャイルドライン京都※」をはじめ、社会基盤を整備するへしくみの見直し・しくみづくりの3事業。こども達には自己尊重の気持ち



ちと将来の希望が育ち、親には子育てへの自信が芽生え、地域には協働のマインドが広がります。また、地域団体や企業をつないでこども主体のイベントを実施するなど、多彩な事業を展開しています。
※裏表紙「未来をつくるコトバ」参照

NPO法人 京都子どもセンター 理事長 竹内 香織

〒604-8166 京都市中京区三条通り烏丸西入御倉町85-1 烏丸ビル2階Flag三条
TEL 075-254-8114 FAX 075-254-8115 (開局:火・水・金 10:00~15:00)

Email info@kodomo-doki.org URL <http://kodomo-doki.org/>

Series 09
NPO法人
京都子どもセンター

こども主体の遊びと学びの
居場所づくり
「のびやかで
豊かなこども時代」
の実現を!

おすすめ! ボランティア File:02

伊丹をもっと面白く!! 第9回ストリート落語in三軒寺広場

「ストリートで落語」と聞くと、違和感を覚えるかも知れませんが、落語は元々、辻説法※から生まれたもの。伊丹出身の桂枝雀について学ぶうちに、



「伊丹から第二の枝雀を」という思いでスタートして9年になります。設営・進行など、すべて市民の手づくりです。一緒に今、面白い街、伊丹を盛り上げませんか。

※仏教の伝道の一方法で、人通りの多い町角(辻)に立って、自分の主張を人々に訴え、信者を獲得すること。

開催日時: 10月16日(日) 12:00~17:00
場所: 三軒寺広場(伊丹市中央3丁目)

伊丹まちづくり会議事務局(クロスロードカフェ)
◆市民の交流を基本に、伊丹に賑わいをつくり出す活動を展開中。
TEL:072-777-1369

京都西山山中にある拠点で山ならではの遊びを展開中! はれザウルス

木と木の間につくられたブランコ、ターザンロープ、ハンモックは定番の遊び道具。他にも、山じゅうを使つての鬼ごっこ、間伐した木でモノづくり、木の観察、湧き水汲み、ツリークライミング…。遊びはこども達が、自分で自然につくり出します。大人だけのボランティアでの参加也大歓迎! 自然に抱かれた時間を過ごしたい方、ぜひご参加を!



開催日時: 11月6日(日) 10:00~
場所: 西山(京都府長岡京市)山中
参加費: 小学生以上600円 小学生未満300円
事前受付期限: 10月31日(月)

おとくにパオ事務局
◆長岡京市を中心に、こども達にさまざまな体験ができる機会を企画・提供。
TEL:075-955-4366
URL:<http://www.ne.jp/asahi/otokuni/pao/>
MAIL:otokunipao@joy.email.ne.jp

Series 10
「自然科学の基礎を
訪ねる」実行委員会

中・高・大学生が自ら
研究・企画して
理科の本質や
楽しさを伝える
イベントを開催

理科嫌いのこどもや若者が増えていると言われて久しい昨今。そんな状況を打破し、一人でも多くの理科好きを増やそうと、教員や研究者、理科好きの学生・生徒が結集して2004年に本委員会を設立。以来、大阪市立科学館を中心に「自然科学の基礎を訪ねる」と題したイベントを毎年3月、8月、11月に開催しています。これは専門家のアドバイスのもと、中学生・高校生・大学生が、運動・電気・宇宙・鉱物・プラスチックなど、さまざまなテーマで自発的に学習・研究し、その成果をわかりやすく展示・公開するもの。イベント当日は彼らがガイドスタッフとして実験や解説を担当します。また吹田市万博公園・森の教室付近では、ペットボトル



で火を噴くロケットをつくったり、ダンボールで巨大ピンホールカメラをつくったりする理科実験野外教室にも参加。若者に研究発表の場を提供し、理科実験の指導者を養成することで、社会性や問題解決力、創造力のある次世代を育成しています。

「自然科学の基礎を訪ねる」実行委員会 代表者 筒井 和幸

〒530-0005 大阪市北区中之島4-2-1 大阪市立科学館内
TEL 06-6444-5184